

令和2年度「ふくおか教育月間」記念行事

総務企画課

福岡県教育委員会では、県民の皆様にご子どもたちへの教育について考えていただくことを願い、「福岡県の教育月間を定める規程」を令和2年2月に制定し、毎年11月を「ふくおか教育月間」としています。

11月23日(月・祝)に、「ふくおか教育月間」の制定を記念し、アクロス福岡で記念行事を実施しました。

当日は500人を超える方々に御参加いただき、盛会のうちに終了することができました。

オープニングセレモニー

オープニングセレモニーとして、狂言師野村万緑氏らによる、狂言「蝸牛」が披露されました。

会場からは笑い声が聞こえるなど、会場の雰囲気明るく盛り上げていただきました。



狂言「蝸牛」

○狂言「蝸牛」…蝸牛(かたつむり)を見たことのない家来が、主人から蝸牛を捕りに行くことを命じられ、藪の中に寝ている山伏(修験者)を蝸牛だと勘違いする、にぎやかで楽しい演目。

記念式典

記念式典では、福岡県教育委員会挨拶として、城戸教育長が「ふくおか教育月間」の制定に込められた思いや、教育の重要性を交え挨拶いたしました。

また、御来賓の方々を代表して、福岡県江口勝副知事、福岡県議会吉松源昭議長から御祝辞をいただきました。



教育長挨拶

また、「ふくおか教育月間」のイメージキャラクター「ミライル」をデザインした、キャラクターデザイナーの谷口 亮氏と、「ミライル」の名前を考えた福岡市立田隈中学校3年 田中 亜弥さんにミライルに込められた思いなどを語っていただきました。



ミライル



谷口亮氏(左)と田中亚弥さん(右)

ふくおか教育月間イメージキャラクター「ミライル」
これからの社会にはばたく子どもたちの「翼」をイメージした妖精

記念講演

記念講演では、大隅 良典 教授に講演いただきました。

大隅教授のこれまでの研究の歩みをとおして、「自分自身の好奇心を大切にすること」「自分で考え行動することが重要であること」「自分自身の問いを大切にすること」など、生き方や学び方について、これからの時代を生きる子どもたちへの大変貴重なメッセージをいただきました。



大隅教授の講演

東京工業大学栄誉教授 大隅 良典 氏

1945年福岡市生まれ。福岡県立福岡高等学校、東京大学教養学部卒。米ロックフェラー大学のノーベル賞受賞者エーデルマン教授の下で研究し、88年に東京大学教養学部助教授。2009年から東京工業大学特任教授を務め、14年から現職。生物が自分自身の体を食べるオートファジーの仕組みの解明で16年にノーベル生理学・医学賞を受賞。

生徒発表

生徒発表では、令和元年度に福岡県教育文化表彰を受賞した、福岡市立城南中学校吹奏楽部と、福岡県立青豊高等学校ダンス部に、日ごろの活動の成果を発表していただきました。

城南中学校吹奏楽部の演奏では、70人の大規模編成で迫力のある演奏が披露され、演奏曲に

城南中学校生徒発表



応じた踊りなど、行事参加者の気持ちを楽しくする演出が見られました。

また、青豊高等学校のダンス部の演技では、生徒が一体となった、力強い演技が披露され、ソロパートや衣装を替えた演技など、華やかな演出で、行事参加者に元氣と感動を与えていただきました。

青豊高等学校生徒発表

